



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒662-0977 西宮市神楽町5-23
 西宮YMCA内
 ☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2014年1月会報 第304号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長 (I P) Poul V. Thomsen (デンマーク)
 主題: "Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
 標語: "Extension, Extension, Extension."
 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長 (AP) 岡野 泰和 (日本)
 主題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
 標語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事 (RD) 高橋 稔彦 (岩国みなみ)
 主題: 「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」
 "Attend club meetings with a clear motive to make the most of them."
 標語: 「経験がワイズを育みます」
 "Your experience makes you a good Y's man."
- 六甲部長 山田 滋己 (神戸ポート)
 主題: 「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」
 《一つ一つの楽しい活動を原点にして》
- 宝塚クラブ会長 石田 由美子
 主題: 「交流こそワイズの楽しさ」

今月のテーマ:IBC(国際兄弟クラブ)、DBC(国内兄弟クラブ)
 そして、見つけたら、友達や近所の女たちを呼び集めて、『無くした
 銀貨を見つけたから、一緒に喜んでください』と言うであろう。言っ
 ておくと、このように、一人の罪人が悔い改めれば、神の天使たちの
 間に喜びがある。

ルカ15:6-7

2014年1月第1例会

日 時: 2014年1月8日(水)18:30
 場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間
 会 費: 会員3,000円、会員外3,500円
 ドライバー 武田 寿子
 山崎 泰男
 石田由美子会長
 全 員
 坂田 昌鴻
 今田 稔
 石田由美子会長
 会長・各委員長
 谷川 尚連絡主事

開会点鐘
 ワイズソング
 聖 書
 祈 祷
 ゲスト・ビジター紹介
 会長・委員会報告
 YMCA 報告
 会 食
 プログラム
 ・1分間スピーチ 全員
 「2014年の抱負」
 ・フォーラム 全員
 「宝塚クラブの今後」
 ・アトラクション (ゲーム)

誕生日のお祝い
 閉会点鐘 石田由美子会長

2013/14 役員	会 長 石田由美子 直前会長 長尾 亘 副会長 杉谷和代、福田宏子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部地域奉仕 環境事業主査 長尾 亘
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 長尾 亘 地域奉仕・環境 山崎泰男 EMC 多胡葉子 交 流 杉谷和代 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	水谷恭子(1月1日) 堀江裕一(1月12日) 武田 健(1月19日) 武田寿子(1月25日) 山崎初子(1月30日)
ト コ 油 齋	在籍会員数 23名 例会出席者数 31名 うち会員数 18名 出席率 78.2% メイクアップ(内数) 1名 メネット 3名 コメント・マゴット1名、ゲスト・ビジター9名
	B Fポイント 12月 0円 累 計 19,837円 にこにこBOX 12月 2,000円 累 計 10,000円 礼拝献金(地球市民育成) 24,301円 物品販売累計 4,000円

12月第1例会報告

第一例会はクリスマス礼拝として、11日(水)6時30分より宝塚ホテルのチャペル「ビオレット」で祝会は「すみれの間」で開催され、参加者30名であった。はじめに石田会長より式次第の説明があり、1部では聖書朗読、祈禱の後、日本キリスト教団 宝塚教会の佃 真人牧師による奨励が行われ、クリスマスプレゼントに関する話であった。その骨子は金持ちの家庭に世話になっているスイス女性が、その家族に贈るのではなく、その町の一番貧しい子供に洋服



を贈り、それを聞いた家族は大変感動したそうです。価値ある贈り物につき考えさせられる内容でした。

その後、船木仁美様の伴奏で一同賛美歌を斉唱し、第1部を終了した。第2部は席を替え、谷川主事の進行で会長の開会点鐘で始まり、一同のワイズソング斉唱があり、会長よりゲスト、ビジターの紹介がありました。

続いて岡野アジア会長よりフィリピンの水害被害の現状報告があり、それによりますと、セブYMCAにおける避難者対応、救援物資の供給基地として大きな役割を担っている事、また今後の中、長期の支援体制の確立、特に子供達に対するケアの必要性を強調された。そしてその一環として今後YMCAアジア太平洋連盟が窓口となり支援基金を募る旨のお話がありました。

その後、会長より土佐堀、芦屋両クラブのク

リスマス例会の案内、六甲部合同新年例会の案内、新春ワイワイフォーラムの案内がありました。事業委員会からは若林メンの市民クリスマスの案内、谷川主事からYMCA報告がありました。

その後、いつもの例会と異なり、ホテルから差し入れのシャンパンやワインを戴きながら楽しい会食があり、そのあとアトラクションとしてメンバー有志による演奏と恒例のフラダンスあった。最後に24日にお誕生日を迎えられる今田メネットのお祝いがあり、会長の閉会点鐘をもって、全て終了しました。

福田 肇

12月第2例会報告

12月18日(水)18時30分からハッピーハウスにて行われ、石田会長、多胡、堀江、長尾、青柳、吉田各メン、今田メネットが出席した。

議事要旨

1、1月例会

会員による「今年の抱負」表明に加えて島井光太郎氏(島井範子姉のご子息)に落語をお願いする。交渉は船木さんに依頼する。

2、市民クリスマス(12月13日)の会計報告(当日現在)、今回の総括、来年(第10回)に向けての検討課題を話し合った。又、当日の会場献金170,740円の用途を次の通り決定した。

- ・フィリピン台風被害支援 70,000円
- ・東日本大震災支援 50,000円
- ・神戸YMCA国際協力金 50,740円以上、まとめて神戸YMCAに送金する。

3、次期クラブ会長について石田会長の提案を承認、交渉にあたって頂く事とした。

4、1月ブリテン

寄稿分担を決定。締切12月26日、
発送12月30日

- 5、芦屋クリスマス（12/23）
参加予定10名
YYフォーラム、神戸4クラブ新年会
（1/11）参加者募集中
- 6、今年度のユースコンボケーション（マニラ）
参加者による報告会が1月25日にクライ
トンホテル大阪にて西日本区主催でお
こなわれる。多くの参加を希望
- 7、西日本区事務所は8月に事務職員の北村さ
んが退職され新態勢に移行ししつある。又、
事務所所長を置くことを決定している。
- 8、NGO活動紹介展、3月8日、9日に開催
される事が報告された。
- 9、じゃが芋会計報告、今年度の収益金は
255,280円であった。

吉田 明

会長新年挨拶と報告

明けましておめでとうございす。

宝塚クラブ最大の地域奉仕事業である、チャ
リティ市民クリスマス「キャロルの夕べ」は今
年も感動の内に終えることが出来ました。クラ
ブ内外の大きなサポートがなくては実現でき
ないイベントです。9回目を迎え少しずつ問題
が出て来ていますが来年の10周年に向けて新
たな目標を目指したいと思ひます。

このコンサートでは、「きよしこのよる」を
フラで踊る、と言うコラボが第1回から続いて
いてすっかりお馴染みになりました。

先月のブリテンで名古屋クラブのみなさんが
この曲をフラで練習してクリスマス例会に備
えられる予定、と報告しました。予定は実行さ
れました！

12月14日、名古屋クラブと名古屋南山クラブ
合同クリスマス例会でDVDを見ながらみなさ
んで踊り、大いに盛り上がったそうです。
そして同じ日のお昼に「愛美の会」と言う名古

屋クラブメネットを中心に長年奉仕されてい
る重度身障者デイケアセンタークリスマス
会でもメネットが「きよしこのよる」を踊られ
た、と聞き胸が熱くなりました。

ここでは同クラブの谷川修メンや渡辺真悟メ
ンがバックバンドを務めみなさんに喜んで貰
えたとの事です。「ワイズの輪」です！

2014年1月25日（土）、13:00から、クライ
トンホテル大阪で2013年8月に実施された「ア
ジアユースコンボケーション」参加者による
報告会が西日本区Yサ・ユース事業主催で開催
されます。地元の部としては多数の応援を出し
たいと思ひますので予定調整をよろしくお願
いします。

最後になりましたが、2014年は宝塚クラブに
とっては重要な年です。多胡葉子メンが7月か
ら六甲部部長として西日本区役員の重責を担
うこととなります。クラブ全体の協力、パワー
が必要です。改めて、自分は何が出来るか、何
を必要とされているか、を考えてみましょう！

そして、一人一人が「楽しかった！」と思え
る働きをしましょう！ 石田由美子

関学・総合政策学部 チャペルアワーに招かれて

2013年12月17日（火）、10:35から始まる
チャペルアワーの外部講師として村瀬義史チ
ャプレンからお招きを受け、神戸三田キャン
パスへ出かけました。

宝塚クラブが主催する「キャロルの夕べ」が不
思議な縁のきっかけとなり4年前から出演協
力をして貰っているフラサークル・マハロの繋
がりです。出来た村瀬チャプレンからお話です。

この時間は1年生の必修科目の1つで1時限目
と2時限目の間の30分間です。私の持ち時間
は15分。マハロのフラガールも踊る、との事
で、正味10分少々です。諸条件を考えて、神
戸YMCAとワイズメンズクラブが提供してい

るユース向けのプログラムをアピールすることになりました。タイトルは「あなたのチャレンジを応援します！」

ワイズメンズクラブからはユースコンボケーションと短期ユース交流事業 (STEP)、神戸YMCAからはタイ・チェンマイ・ワークキャンプをスライドを使い分かりやすく説明し、事前に配布したレジ



ュメには問い合わせ先として、神戸YMCA国際奉仕センター、永井道子さんの協力を得て電話番号とeメールアドレスを載せました。

当日は六甲部としても情報共有の必要がありますので、六甲部Yサ・ユース事業主査である長尾亘メンと一緒に出かけました。通常、180名収容の教室はこの日は240名と言う大盛況！マハロが出る時はいつもより多いそうです。短時間で理解して貰えたか、不安でしたが、後から村瀬チャプレンのブログを見ると、

「YMCAを初めて知った。興味があります」「ワイズメンズクラブを初めて知った」「友人とYMCAの活動に参加してみようかと話していたので大変参考になった。タイワークは興味がある」など幾つかの良い反応が書かれていました。来年のタイワーク参加者を丁度現在募集中ですのでタイミングとしてもいい機会だったと思います。

終了後、村瀬チャプレンとお話していると、名古屋中央教会が母教会である事、名古屋クラブの西村清先生には将棋でいつもこてんぱんにやられるとの事など、話が弾みました。ぜひ一度宝塚クラブの例会にお越しください、とお誘いし、クリスマスムードの馴染み深い「ヴォーリズ」建築を後にしました。

素晴らしい機会を与えて頂き感謝です。

石田由美子

他クラブ訪問

◎大阪土佐堀クラブ12月例会に参加して

12月17日(火)大阪キャッスルホテルにおいて18:30開会されました。宝塚クラブからの参加は石田会長、長尾、多胡、三品、杉谷の4名でした。会場狭しと大勢のゲスト、特に男性が目立ちました。宝塚クラブと雰囲気が違うので何故かと思うとダークスーツの男性が多かったことと皆さん活発に声を出されるので宝塚の静かな例会に慣れている私には2度目の訪問ですが少々戸惑いました。

ビジネス部分の会長のスムーズな進行と若い女性メンのプログラム進行がよいマッチングで場は和みました。多胡さんがスポンサーされたバリバリの新会員の入会式がとても立派になされました。大阪土佐堀にはしばらく貸しがある感じですか！（ねえ？多胡さん）同じテーブルにも入会は時間の問題と思われる方もおられ、大阪土佐堀は益々男性色の濃いクラブになる傾向でしょうか？しかし、そんな環境の中、来期の会長は大変若い女性メンの就任が発表になりました。土佐堀は男性社会の縦の関係で



お誘いを受けられるケースが多いようにテーブルでの会話を通して感じました。プログラム

の落語はノンプロ（歯医者さん）の落語で楽しみました。最後は岡野さんがオークションとなり巧みに品物を捌かれました。1, 2のテーブルは大いに盛り上がり、その割に我がテーブルは静か・・・オークションに参加する

タイミングを逸した傍観組となり何もゲットしませんでした。

例会後ホテルの外でしばらく佇みキラキラ輝く年の瀬の夜景を満喫しそれぞれナイスショット！12月の他クラブ訪問はクリスマスということで企画に趣向を凝らし楽しむことが出来ました。大阪土佐堀クラブの皆様、ありがとうございました。また来年お会いするのを楽しみに・・・

杉谷和代

◎土佐堀ワイズのクリスマス例会に出席して

12月17日(火)午後6時30分から大阪キャッスルホテルで開催された

土佐堀ワイズのクリスマス例会に宝塚から石田会長、長尾、三品、杉谷、多胡の5人の参加。ゲスト、ビジター合せて40人。普段は土佐堀YMCAで開催されている例会だがキャッスルホテルでの開催は久しぶりのこと。

キャッスルホテルからの夜景は川添のイルミネーションもありすばらしい眺めでクリスマス例会には幻想的な場所でもあった。

岩田会長の開会点鐘ではじまり最初に入会式が行われた。土佐堀のメンバーの暖かいサポートが感じられとてもうれしい入会式へスポンサーとして立ち会いが出来た。

いずれ岡野アジア会長は宝塚へという願いをもって！岩田会長へは石田会長から倍返しねとの約束がされたとかされなかったとか。

おいしいお食事、楽しい団らん、アトラクションの落語、オークションと次々と笑いの絶えない楽しいクリスマス例会だった。

多胡葉子



◎芦屋クラブのクリスマス祝会

12月23日芦屋竹園ホテルにて芦屋クラブ恒例のクリスマス祝会が開かれ、宝塚クラブから石田、多胡、今田夫妻、福田(宏)、杉谷、

堀江、澤田ゲストの8名が参加しました。中道神戸YMCA理事長、水野総主事、岡野アジア会長、山田六甲部長他、総勢90余名が集まり、さながら六甲部の祝会のように、福原、柏原両ワイズの司会、羽太芦屋クラブ会長の挨拶、開会点鐘で始まりました。

第1部礼拝では芦屋クラブのメンバーでもあります権甲植伝道師の奨励があり、新約聖書冒頭マタイ第1章第1節から16節が採り上げられました。そうそう読み上げられる箇所ではありません。朗読された五十嵐メンも大変でした。私は偶々、昨年関学の新約聖書講義で、誰もが避けて通りがちなこの節の講義を1時間半にわたって受講しましたので興味深々、しかしここでは省略しましょう。

第2部はミュージックアワーです、カントリー一色、ジョッシュ大塚&スライスチーズの演奏に加え、スパイシーエンジェルと称されるダンスチームのカントリーダンスが披露され、若さと元気さ、楽しさ一杯でした。

第3部からは竹園自慢の肉料理、美味しいワイン等を頂

きながら、歓談、恒例のオークション。また多数の方が席を離れて、カントリーダンスに加わり、ホールいっぱいダンスの輪がひろがりました。

フィナーレではオークションの収益金全額が神戸YMCAに捧げられ、全員が手を繋ぎ輪になって聖しこの夜を口ずさみながら、島田直前会長の閉会挨拶を聴き、羽太会長の閉会点鐘で、3時間余りの楽しい祝会を閉じました。

堀江裕一



【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

わたしが生活している大島教会の人たちは、とても思いやりが深くて親切な人たちです。わたしが少しずつ難聴になって、細かい会話が聞き取れなくなっていることを知って、補聴器をプレゼントしてくれるというのです。耳鼻科で聴力検査をして、リオネットという会社から補聴器なるものを買いました。

今は効率がよく、耳の穴にすっぽりはいりませんから、一見それをつけていることは目立ちません。しかし費用がなんと両耳で60万円。あまりにも高価なので、10万円だけ援助してもらってあとは自腹を切りました。ところが使い慣れないある日、片耳の分をどこかに落としてしまいました。大変だ、30万円落とした。あわてて部屋中を探し回り、洗濯機から風呂や炊事場の流し。しかしどこを探しても出て来ません。孫に見つけてくれたら1万円あげると懸賞をつけたのですが、懸賞金が安すぎたのか探すのは一度きりで、いまだに出て来ません。この必死のリサーチでルカによる福音書のこの言葉がここに突き刺さりました。

神さまもこれほどの熱意でわたしの魂を追いかけて、気にかけていてくださるのだと。新しい年も、その方の注視のもとに始まりました。



1. 神戸YMCA 2014年度年間聖句

去る11月27日(水)に第27回の公益財団法人の理事会が開催されました。概ね公益財団法人の理事会においてはこの2年、三宮会館再開事業及び灘での拠点開発についての議案

が主として議論されてきて、現在の進行状況になっています。第27回の理事会においても同様の議案が審議されましたが、加えて2014年度の全体方針や組織についての協議がなされました。詳しくはまたお知らせいたしますが、その席上で次年度の年間聖句が選ばれましたので紹介します。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」(テサロニケの信徒への手紙 5:16~18)です。次年度の基本姿勢として覚えて、次年度を準備したいと思います。

2. クリスマス行事が、各地で開催

YMCAの内外でクリスマス行事が行なわれています。月初から保育園や幼稚園では、各園でクリスマス礼拝が行なわれ、年長児が降誕の聖劇を披露し、一生懸命に覚えたセリフを大きな声で語り、演技をし、歌を歌って、それぞれの役割を全うした子どもたちの姿に感激しました。また、それぞれのランチ、センターでも、子どもたちのクリスマス会がもたれたことだと思います。

私たちのワイズは13日に宝塚市民クリスマスを、また神戸では12月20日(金)には神戸市民クリスマスがあり、今年は神戸栄光教会をメイン会場に開催されました。多くのクリスマスのイベントにYMCAの皆さんが関わり、準備してくださっていることに感謝いたします。

4. 今後の予定

1) 新年職員礼拝

新年を迎え、神戸YMCA職員は礼拝をもって一年をスタートします。ご一緒いただければ幸いです。

日 時：1月 6日(月) 午前9:00~10:00

場 所：神戸YMCA チャペル

奨 励：水野雄二総主事

2) 新春YYフォーラム

ワイズメンズクラブとユース委員会が企画してくださった恒例のYYフォーラムが

以下のように開催されます。今年はワールドカフェという形式でコーヒーを片手に「飲んで、しゃべって」リラックスした時間を持ちます。勿論、ネット上ではなく、アナログ式でYMCAのネットワークを広げる集いです。是非、ご出席ください。

日時：1月11日(土)

午後1:00～5:00

場所：神戸YMCA チャペル

テーマ：「さあ！ 飲んでしゃべろう！
～わたしのSNS♪ あなたは？～」

申込先：ウエルネスセンター学園都市
(FAX:078-793-7433)

3) 第32回午餐会

恒例の午餐会に次回は日本YMCA同盟総主事の島田茂さんをお招きし、世界のYMCAの動き、日本のYMCAの挑戦を通して青少年の課題についてお話を伺います。是非、ご参加ください。

日時：2月1日(土) 正午～午後2時

場所：神戸YMCA 4F 会議室

テーマ：YMCA、世界最大の青少年団体の
挑戦 ～地球市民育成と平和文化

講師：島田茂さん(日本YMCA同盟総主事)

会費：1,500円(昼食代を含む)

申込：本部事務局

4) チャリティーワインを楽しむ会(予告)

日時：2月7日(金)

場所：ポートピアホテル

ボランティアの演奏に感動の拍手！
第9回市民クリスマスが盛大に開催



12月13日夜、第9回目となる市民クリスマス「キャロルを歌う夕べ」が宝塚ベガホールに満員のお客様を集めて催されました。今回は、開演に先立ち、宝塚厚生幼稚園園児30人が



元気な声でキャロルを歌い、聖書の一節を斉唱してくれました。園児にとってベガホールは初舞台とあって、カメラ片手の保護者も緊張気味でしたが、ほほえましい姿で開幕の舞台を飾りました。第1部の「音楽と朗読で綴るクリスマス物語」では石橋聖トマス教会の磯晴久牧師に聖書朗読を担当していただき、パイプオルガン、リコーダーと弦楽の合奏、ハンドベル、独唱・合唱が美しい教会音楽の数々を演奏してくれました。特に、合奏曲ではリコーダーとバイオリンの息の合った二重奏が圧巻、合唱団も9月から準備してきた成果を十分に披露すること

ができた。第2部では、NHK復興支援ソング「花は咲く」を、ゲスト出演の田中良和さんのテナー独唱に合わせて関学フラチーム・マハロが踊り、見栄えのする舞台となりました。



注目のポップンキッズは元気よくメロディトーンを奏で、特に、お母さんの手を借りない自分たちだけの演奏に初挑戦して成長ぶりを見せました。会場には涙するお客様もあり、大きな拍手のご褒美をいただきました。



今回も二つの教会の献金・出演者の協力金・ワイズのファンド事業からの拠出に支えられ、子ども・学生から大人まで多くのボランティアの汗と努力の成果が確かめられたコンサートとなりました。

また、ワイズメンズクラブ西日本区からCS事業活動助成金を頂戴することが出来ました。皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今回の事業におけるデータは次の通りです。
出演者：115人、スタッフ：15人、計130人
入場者：430人（幼稚園児・保護者含む）

献金：170,740円

（献金は、神戸YMCAボランティア協力募金、東日本大震災被災者支援募金、フィリピン台風災害被災者支援募金に支出）
若林 成幸

◎ クリスマスキャロルの夕べの

コーラスの練習

クリスマスキャロルの夕べのコーラスに関しての一言。

指揮者及びリーダーの若林メンはコンサートが終わるや否や来年度の構想が頭をよぎること。構想をあたため9月にはコーラスのメンバーへの呼びかけがあり、練習が始まる。毎年このコーラスに出演するのを楽しみにして下さっている方、初めて参加される方、メンバーが足りないからと急遽加わって下さる方と30人位のメンバーが集まる。当日までに10回甲東教会で場所をお借りして練習に励む。受付はいつも故今西メンの奥様の時子さんがご奉仕して下さい。

練習に参加するものは初回1,300円、そしてその次からは300円の会費を納入する。この資金は大切な運営費の一部となる。

今年の練習時間は4:00～する日と6:00～する日とに設定された。

コーラスは第一部の朗読と音楽でつづるクリスマスのメイン。聖書朗読のクリスマス物語にそって歌われる。毎年同じ曲が歌われるのではないがその選曲はいつもとてもすばらしい。年によっては難しいと感じるときもあるが、指導の巧さと気楽さがコーラスのメンバーを一つにまとめあげ本番では予想外のハーモニーが醸しだされる。参加する喜びと充実感が味わえるキャロルの夕べでのコーラスとなっている。来年は10年の節目を迎える年になる。一段とすばらしいコーラスでキャロルの夕べを迎えたい。

多胡 葉子

◎第九回 「キャロルを歌う夕べ」

恒例、チャリティ市民クリスマス「キャロルを歌う夕べ」が12月13日ベガホールで盛大に開催された。今年は特別に宝塚厚生幼稚園の園児たちによってキャロリングがなされ、可愛い歌声が会場に響き渡った。

第1部は「朗読と音楽でつづるクリスマス」、第2部「みんなでクリスマスを歌おう」:

「フラを踊ろう」コーナーではNHK復興支援ソング「花は咲く」を田中良和テノール歌手の力強い歌声で関学フレーザーサークル・マハロのメンバーによるフラが披露された。

ポップン・キッズによるメロディーベル合奏では年々、彼らの腕に磨きがかかり、数々のメロディーが聴衆に感動を与えた。「クリスマスの花束」では聴衆と共に讃美歌を賛美し、最後の「ハレルヤ・コーラス」では多くの方が舞台上がり、会場全体がキリストの降誕を歓喜の合唱で祝った。私個人としては、四月より多少の余裕の時間が与えられ、第1部の合唱に加わり、10回中8回の練習に加わり、アルトのパートに加わったものの、何十年振りかのコーラス参加で、音程をとるのに戸惑ったのは当然であった。内心、不安が募り「出来るかな〜？」と思っていたが、一旦、舞台上立つとその不安は全く消え去り、歌うことができたのが不思議な気がする。舞台上立って歌う素晴らしさを発見できた「キャロルを歌う夕べ」であった。

福田 宏子

◎キャロルを歌う夕べ裏方の記録

本来記録にのぼらないのが裏方の仕事、あえて今年は報告することになりました。

宝塚ワイズでは年中行事なっているこのイベント、出演者も縁の下もすっかり板についた感じです。

まづ、係者の百個あまりの夕食の弁当受取りにはじまり、ホール控室（楽屋）の借りられる時間帯にあわせて鍵をうけとり解放しま

す。あとは受付の準備、プログラムや献金箱の配置をしたり、リーダーと共にYMCAの活動写真展示をして開場をまちます。

今年は幼稚園児のキャロリングがあったので開場前から保護者の方々がロビーにあふれ、正面の外で待っているお客様にかなり気をつかいました。5分前に開場しました。“メリークリスマス”とにこやかにお迎えしたつもりです。

そして、終演後は献金箱を前にお礼をいい乍ら、出演者、お客様共々ロビーで短い交流ののち見送って、めでたしでした。後片付けもリーダーの応援の大活躍と共にあざやかにすまることが出来ました。ベガホールが楽屋がホールの階下にあるので階段が多く、働くのにはかなり体力（脚力）がいるのです。

この会の運営責任者が皆出演者を兼ねているので、ちょっとしたハプニングにも裏方はまごまごしました。が、これもすべてワイズの奉仕のボランティア特徴、神様がうまく運んで下さいます。 今田 和子